

新型コロナウイルス感染症予防接種を受ける前に・一般注意

市川町保健福祉センター

《新型コロナウイルス感染症予防接種の効果は？》

予防接種を受けてから新型コロナウイルス感染症に対する抵抗力がつくまでに 1～2 週間程度かかり、免疫がついても発症を予防する効果は 100%ではありません。また、時間が経過すると発症予防効果は低下するとされていますが、新型コロナウイルス感染症にかかった場合の入院や死亡等の重症化等を予防する重症化予防効果が認められています。

《予防接種を受ける前に、医師と相談する人》

- ①重い急性疾患にかかっている人
- ②過去に免疫不全の診断を受けた人、近親者に先天性免疫不全症の方がいる人
- ③心臓、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患のある人
- ④過去に予防接種を受けて、接種後 2 日以内に発熱や全身性の発疹などのアレルギーが疑われる症状がでた人
- ⑤過去にけいれんを起こしたことがある人
- ⑥ワクチンの成分に対して、アレルギーが起こるおそれがある人
- ⑦抗凝固療法を受けている人、血小板減少性または凝固障害のある人

《予防接種を受けた後の一般的注意事項》

- ①接種当日や翌日にできるだけ無理をしないですむように予定を立てましょう。
- ②入浴は差し支えありませんが、注射した部位を強くこすらないようにしましょう（接種後に体調が悪い時は、入浴を控えることも検討してください）。
- ③接種当日は、激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。

《新型コロナウイルス感染症予防接種の副反応》

主な副反応として、注射した部分の痛み、疲労、頭痛、筋肉や関節の痛み等がみられることがあります。こうした症状は数日以内に回復します。接種後、気になる症状がある場合は、接種医またはかかりつけ医に相談してください。

また、非常にまれですが、アナフィラキシー（急性アレルギー症状）が起きることもあります（もし、アナフィラキシーが起きたときには、医療機関ですぐに治療を行うことになります）。

裏面もお読みください。

《予防接種健康被害救済制度》

新型コロナウイルス感染症の予防接種による健康被害を受け、厚生労働大臣が認定した場合、予防接種法に基づく給付を受けることができる健康被害救済制度があります。給付申請の必要が生じた場合は、市川町保健福祉センターへご相談ください。